

教育情報化コーディネータの  
現実的課題と  
その解決のための方策の一考察

正來 洋 加藤隆弘 中川一史 堀田龍也

学校内の体制と外部からの支援体制 (イメージ図)



教委

教育センター  
(指導主事)

校長・教員

技術者(業者)

ボランティア

...

コーディネータの扱う多くの問題はどちらかを採用するともう一つの利点を捨てなければならない、いわゆる

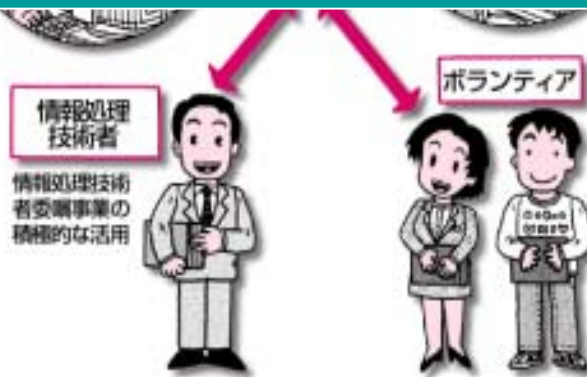
**トレードオフの問題**である。  
(永野2001)

ITCe  
それぞれの条件・要請を  
**調整し**  
**意志決定**  
する。

文部科学省

Webより

教育情報化コーディネータ  
とはなにか? なぜ必要か  
(ITCeの理念)



# 現実的課題

- 役割が未分化 行政や現場の理解を得るには？

行政への対応をどうすべきか？

コーディネータとしての役割や権限はどうあるべきか？

- 現場の実態... 進みつつあるインフラ整備

But スキルや意識の格差

学校現場との対応は  
どうあるべきか？

情報教育推進の重点  
は

どこに置くべきか？

学校間の格差に？？

# 理念と現実

- 先駆的な地域がすでに存在している
- 本格的な制度的裏付けは、まだこれから
- 現在は教育情報化コーディネータの

本格的普及直前 = 過渡期

**価値** = 先駆的事例の分析は  
本格的な普及期における  
貴重な知見として重要

# コーディネータ活動の二事例

## ■ T県M郡 N氏

自治体の枠を超えた  
コーディネータ配置を  
実現した先進的地域  
の事例として

## ■ I県K市 M氏

明確なビジョンを持ち  
地域の情報化に取り  
組み始めたコーディネ  
ータの事例として

聞き取り、同行取材による調査 整理

T県N氏

# 活動の背景と課題

I県M氏

平成12年度より郡と  
県の合意により情報  
加配教諭身分のまま、  
郡の教育ネットワー  
クセンター勤務、地  
域のITコーディネー  
タとして働く。  
担当地区学校数  
約60校弱

平成14年度より、K  
市教育センターに情  
報教育兼教科指導主  
事として、地区の小  
学校教諭から転任配  
属。  
担当地区学校数  
約40校

地域の情報教育を統括する  
コーディネータとしての  
地域・行政からの役割期待

T県N氏

# 行政への対応

I県M氏

現行教育ネットワーク  
インフラの整備維持・  
管理業務

- 教育ネットワークセンター  
運営
- 担当地域・学校のネットワー  
ク整備、維持管理

将来的な教育ネット  
ワークインフラ整備の  
ビジョン策定

現行ネットワーク指定事  
業の期限切れが迫る。  
次期教育用ネットワー  
クの構想の策定と、その実  
現のための予算措置獲  
得のためのアピール

共通点

# 行政への対応

## 行政のニーズの把握

- 情報ネットワークの**整備**・管理
- 教育の情報化情報教育の推進

## 活動成果の積極的なアピール

- 行政への成果アピールは  
次の活動への支援確保を  
意味する

**行政・教委の  
ニーズの把握  
成果のアピール**

コーディネータ  
活動への理解を  
引き出す

上部情報の  
的確な把握  
発言力の確保

情報化  
情報教育の推進



T県N氏

# 学校現場との対応

I県M氏

## 現場支援の徹底 (授業・技術支援)

ネットワークのメンテナンス、  
トラブルシューティング

授業のサポート

地域内ネットワークの  
構築、一元的な管理

## センター研修講座の 拡充と充実

希望者全員に対応できる夏期  
休業中の研修講座計画

地域の実践リーダーを  
講師とした研修講座開催  
(リーダー育成)

## 現場支援体制の確立努力

ネットワークの活用  
アドバイザーの  
育成と活用  
スキルアップ  
保守契約を重視

# 共通点

# 学校現場への対応

## 学校現場の状況の正確な把握

- 頻繁な学校訪問  
(年間1400時間、1学期に70回...)
- 対応の速さとの確さ

## 学校現場のニーズへの対応

- 情報教育推進のための環境作り
- 校務等の学校情報化の推進

## 現場からの信頼

教員本務外の  
負担の軽減

かゆいところに  
手が届くサポート

コーディネータ  
活動への理解

T県N氏

# 情報教育推進の重点

I県M氏

本格的なITCe制度の  
普及への期待

自ら**ITCe2級資格**を取得

校内推進リーダー(ITCe3  
級レベル)の育成の公的な  
保証を希望し、各方面にア  
ピール

各地区の  
実践リーダー集団の育成

地区ごとのコアメンバーの選出

複数の情報教育プロジェクト  
立ち上げ  
県管轄のプロジェクトへの推薦  
地区リーダー要請に優先対応

リーダー

**共通点**

# 情報教育推進の重点

- 地域情報教育サークルを主宰
  - 地区の実践的・技術的リーダーの育成を目指して...
  - TTによる授業支援
  - 授業研究会で助言

**「広める」  
指導者の育成**

正しい情報教育  
の認識と  
実践のできる  
リーダー集団  
作り

# コーディネータとしての

T県N氏

I県M氏

## 資質・権限

最新の情報教育トレンドを  
つかむ自己研修

広く県外の情報教育研修会に  
積極的に参加  
全国レベルの情報教育プロジェ  
クトへの積極的参画

指導主事としての権限の  
重要性

県レベル会議への出席が可  
能  
市の行政組織への要請・陳  
情が容易

# 共通点

指導主事兼任  
間の負荷

# コーディネータとしての 資質・権限

情報収集のために

教育委員会、管理職との意志の疎通



教員出身コーディネータとして

学校現場の実情の的確な把握  
授業指導に関する知見の蓄積

過渡期の  
現状から



問題へ柔軟な対応のため

学校現場への頻繁な訪問、対

活動の  
柔軟性と専門性

コーディネータ  
としての  
バランス感覚の  
重視

# まとめ

- 行政・地域からの期待
- それに応えるためのニーズの把握、成果のアピール
- 現場からの信頼と理解 手厚いサポート活動
- 「広める」指導者の育成
- コーディネータとしての柔軟性と専門性の確保のために 自己研修と情報収集

# 今後の課題

- 過渡期から普及期へ  
継続的に情報収集・分析
- より多くの事例を収集  
(より多くの事例の検証)